

(平成24年1月分)

部 門	市況の概要
野 菜	<p>1月期の野菜の入荷状況は、根菜類、葉菜類、果菜類では、多くの品目で生育期の天候不順から作柄不良がみられ入荷減となった。土物類では、前年の入荷が少なかったことから、入荷増となった。野菜全体の入荷量は前年同期を4%下回った。</p> <p>価格は、入荷減となった多くの品目で単価高となった。前年単価高であった土物類では、単価安となった。野菜全体では、前年同期を12%上回った。</p> <p>品目別には、長ダイコン、西洋ニンジン、ハクサイ、ホウレンソウ、キュウリ、ナス、トマト、ピーマン入荷減の単価高、キャベツ、レタスが入荷増の単価高、バレイショ、タマネギが入荷増の単価安となった。</p> <p>根菜類は、入荷が7%減少し、価格は21%高となった。 葉菜類は、入荷が3%減少し、価格は23%高となった。 果菜類は、入荷が11%減少し、価格は20%高となった。 土物類は、入荷が7%増加し、価格は22%安となった。</p>
果 実	<p>1月期の果実の入荷状況は、柑橘類、リンゴ類、イチゴ類で生育期の天候不順から作柄不良がみられた。柑橘類では、ミカンで、前年が裏年で入荷が少なかったことから入荷増となった。一方、リンゴ類、イチゴ類では、入荷減となった。メロン類では、多くの産地で、加温用重油の高騰から作付面積が減少させており、入荷減となった。果実全体の入荷量は、前年同期を4%下回った。</p> <p>価格は、柑橘類では、ミカンで、入荷増であったこと、また下位等級の入荷が多かったことから単価安となった。リンゴ類、イチゴ類、メロン類では、多くの品目で入荷減により単価高となった。果実全体では、前年同期を6%下回った。</p> <p>品目別には、ミカンが入荷増の単価安、イヨカン、ふじ、王林、イチゴ、アールスが入荷減の単価高となった。</p> <p>柑橘類は、入荷が6%増加し、価格は20%安となった。 リンゴ類は、入荷が16%減少し、価格は38%高となった。 イチゴ類は、入荷が20%減少し、価格は11%高となった。 メロン類は、入荷が34%減少し、価格は19%高となった。</p>

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長ダイコン	<p>徳島県，長崎県を中心に，鹿児島県，和歌山県，神奈川県からの入荷。各産地ともに低温，干ばつの影響から肥大不良がみられた。入荷量は，前年同期を7%下回った。</p> <p>価格は，入荷減により，前年同期を31%上回った。</p>
西洋ニンジン	<p>長崎県を中心に，鹿児島県，愛知県，鳥取県，千葉県からの入荷。主力の長崎県産で，天候不順から作柄不良がみられ全体の入荷量は，前年同期を9%下回った。</p> <p>価格は，入荷減により，前年同期を7%上回った。</p>
【葉菜類】 ハクサイ	<p>茨城県，鹿児島県，愛知県，熊本県，滋賀県からの入荷。各産地ともに，低温，干ばつの影響から小玉傾向での入荷となった。入荷量は，前年同期を11%下回った。</p> <p>価格は，入荷減により，前年同期を14%上回った。</p>
キャベツ	<p>愛知県を中心に，鹿児島県，滋賀県，兵庫県，大阪府からの入荷。各産地ともに，低温，干ばつの影響から小玉傾向での入荷となったものの，中央集散機能の発揮により，入荷量は，前年同期を6%上回った。</p> <p>価格は，入荷増ながら，全国的な品薄状態から前年同期を25%上回った。</p>
ホウレンソウ	<p>京都府，徳島県を中心に，福岡県，茨城県，滋賀県からの入荷。各産地ともに低温，干ばつの影響から生育の遅れや作柄不良がみられた。入荷量は，前年同期を15%下回った。</p> <p>価格は，入荷減により，前年同期を29%上回った。</p>
レタス	<p>兵庫県を中心に，徳島県，長崎県，愛媛県，岡山県からの入荷。主力の兵庫県産では，降雪の影響から入荷減となったものの，前年の入荷量が少なかったことから，前年同期を5%上回った。</p> <p>価格は，入荷増ながら，全国的な品薄状態から前年同期を27%上回った。</p>
【果菜類】 キュウリ	<p>宮崎県を中心に，高知県，徳島県，滋賀県，愛媛県からの入荷。多くの産地で，生育期の天候不順により作柄不良がみられ全体の入荷量は，前年同期を12%下回った。</p> <p>価格は，入荷減により前年同期を26%上回った。</p>

ナス	<p>高知県を中心に、岡山県、熊本県、徳島県からの入荷。 各産地ともに生育期の天候不順により作柄不良がみられ全体の入荷量は、前年同期を24%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を36%上回った。</p>
トマト	<p>熊本県を中心に、福岡県、京都府、佐賀県、愛知県からの入荷。 各産地ともに生育期の天候不順により作柄不良がみられ全体の入荷量は、前年同期を13%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を15%上回った。</p>
ピーマン	<p>宮崎県を中心に、高知県、鹿児島県からの入荷。 各産地ともに生育期の天候不順により作柄不良がみられ全体の入荷量は、前年同期を10%下回った。 価格は、入荷減により、前年同期を34%上回った。</p>
<p>【土物類】 パレイシヨ (メーカー含む)</p>	<p>北海道を中心に、長崎県、鹿児島県からの入荷。 主力の北海道産で、生育期の天候不順から作柄不良がみられ、小玉傾向での入荷となった。全体の入荷量は、前年が不作であったことから、前年同期を9%上回った。 価格は、前年が単価高であったことから、前年同期を25%下回った。</p>
タマネギ	<p>北海道を中心に、兵庫県、中国、アメリカ、静岡県からの入荷。 主力の北海道では、地域により作柄は、様々であった。兵庫県産では、生育期の天候不順から作柄不良がみられた。入荷量は、前年が不作であったことから、前年同期を11%上回った。 価格は、前年が単価高であったことから、前年同期を32%下回った</p>
<p>【その他野菜】 生シイタケ</p>	<p>徳島県を中心に、広島県、北海道、和歌山県、岡山県からの入荷。 多くの産地で、下旬からの低温の影響で、生育が停滞した。 全体の入荷量は、前年同期を3%下回った。 価格は、不況による需要の低迷が続いており、単価安であった前年同期並みとなった。</p>

主要品目（果実）	市況の概況
ミカン	<p>和歌山県を中心に、福岡県、大分県、香川県、広島県からの入荷。9月以降、高温や降雨が続いた影響から作柄不良がみられた。入荷量は、前年が裏年で入荷が少なかったことから、前年同期を10%上回った。</p> <p>価格は、入荷増であったこと、また、下位等級の入荷が多く、前年同期を29%下回った。</p>
イヨカン	<p>愛媛県からの入荷。</p> <p>生育期の天候不順により作柄不良がみられ、入荷量は、前年同期を12%下回った。</p> <p>価格は、入荷減により、前年同期を3%上回った。</p>
ふじ (サン含む)	<p>青森県を中心に、岩手県からの入荷。</p> <p>各産地ともに生育期の天候不順により、小玉傾向での入荷となった。入荷量は前年同期を16%下回った。</p> <p>価格は、入荷減により前年同期を41%上回った。</p>
王林	<p>青森県からの入荷。</p> <p>各産地ともに生育期の天候不順により、小玉傾向での入荷となった。入荷量は前年同期を28%下回った。</p> <p>価格は、入荷減により前年同期を33%上回った。</p>
イチゴ	<p>熊本県、福岡県を中心に、大分県、佐賀県、長崎県からの入荷。</p> <p>各産地ともに曇天と寒波の影響から生育が進まず、入荷量は前年同期を20%下回った。</p> <p>価格は、入荷減により、前年同期を11%上回った。</p>
アールス	<p>静岡県、熊本県を中心に、高知県、宮崎県からの入荷。</p> <p>多くの産地で、加温用重油の高騰から作付面積を減少させている。入荷量は前年同期を30%下回った。</p> <p>価格は、入荷減により前年同期を20%上回った。</p>